

Special Feature

D.I.Y. & Cost Control Design

付加価値を生み出す
コストコントロール設計手法

Feature Article

Bakery

ベーカリーカフェ&新世代のパン専門店

Sushi Restaurant

現代の寿司空間

Report

ミラノ・デザイン・ウィーク 2018



日本の美意識を纏ったデザイン、 心に響くものづくりの追求



日本国内で家具の企画・デザイン・製造までを一貫して手がける、リッツウェル。1992年の創業からメイド・イン・ジャパンの家具にこだわりながら、海外でも通用する製品づくりを続けている。同社がミラノサローネに初出展したのは2008年。2013年からは単独での出展となり、今年開催で10回目の展示を行った。今回、出展したデザインホール5号館(Hall-5)は、出展する約9割が地元イタリアの一流ブランドであり、リッツウェルはアジアで唯一のブランド。また同社ブースは、サローネの出展者のみに配信されるメディアで注目のブランドとして紹介されるなど高い期待も伺える。

今回の展示ブースは、美術館やギャラリーのように一つのプロダクトを際立たせるショーウィンドウのような前面通路側のエリアと、複数の家具がコーディネートされたエリアに分かれる。いずれのエリアも多くの来場者で常にぎわい、昨年の約3倍、5000人強が訪れた。ショーウィンドウにピックアップされたのは、独特な形状と素材づかいが特徴の新作イーゼルチェア「BEATRIX

(ベアトリクス)」。そして、今年6月から日本国内でもリリースされるサイドボード「JABARA SIDEBOARD(ジャバラ サイドボード)」だ。「JABARA SIDEBOARD」の最大の特徴は、名前の通り蛇腹状になった収納扉。かまぼこ型の幅8mmの無垢材が並ぶ繊細なつくりと、柔らかな表情が印象的だ。蛇腹扉は開くとそのままサイドボードの側面に見える形で引き込まれていく。その他、皮革を前面に用いたプッシュオープン引き出しや、シャープな脚や棚板など細部まで美しく、丹念につくり込まれている。欧州ですでに複数の買い付けを受けている他、ドイツの「レッド・ドット・デザイン賞2018」も受賞するなど評価が高い。

同社社長でデザイナー・宮本晋作氏の「一つひとつのプロダクトが、ユーザーの心に響くものづくりを追求し続けたい」という言葉通り、独創的な家具の魅力を提案するとともに、海外へ向けてリッツウェルの精緻なものづくりを発信する多様な製品の今後に注目したい。



1/会場はイタリアのデザイナーとコラボレートした空間構成。ショーウィンドウには、「BEATRIX」(左)と「JABARA SIDEBOARD」(右)が浮かび上がるような展示がなされた。2/多くの人でにぎわう展示ブース。来場者の多さからもその注目度が伺える。2/ブース内にはリッツウェルの多様な製品をコーディネートしたインテリアが展開。システムソファ「LIGHT FIELD modular sofa」(写真右)や一人掛けソファ「DIANA」(写真左)、丸テーブルシリーズ「MO TABLE」など、海外のデザインアワードを受賞している上質な家具が並んだ。

問い合わせ/リッツウェル URL <http://ritzwell.com/> TEL 03-5772-3460 [資料請求番号040]



1. ブランドが誕生した1952年にオマージュを捧げた「2 モンクレール 1952」。ブランドのトレードマークである多彩でクラシックな要素を表現 2. 「5 モンクレール クレイグ・グリーン」。実用性と機能性を軸にした抽象的な提案 3. シモーネ・ロジャが手掛けるコレクション 「4 モンクレール シモーネ・ロジャ」。ヴィクトリア時代の女性登山家がインスピレーションとなったコレクション

ポップアップエイジに向けた 限定コラボ企画「モンクレールジーニアス」

野田達哉(ファッションヘッドライン編集顧問)

地 球温暖化、暖冬異変と毎年、世界的に騒がれている一方で、ダウンジャケットで知られる仏発祥ブランド「モンクレール」のビジネスが好調だ。モンクレール Spaの2017年12月通期決算は、売上高11億9370万ユーロ(1ユーロ=130円換算で約1552億円)と前期比14.7%増。純利益は2億4968万ユーロ(約425億円)と、同27.3%増の増収増益。日本を含むアジアその他の地域は4億9500万ユーロ(約643億5000万円)、同18.4%増と全体を牽引した。ジャパン社の業績は公表されていないが、日本国内での売り上げは約200億円、前年比2ケタ増と好調が伝えられる。

この好業績の立役者が03年にファイナンシャルグループと組んでモンクレールを買収したレモルフィーニ会長兼CEOであることは衆目が一致するところだ。この10年でビジネスは15倍に成長。03年までクリエイティブ・ディレクターを務めた彼の手腕は経営者というよりクリエイティ

ブ戦略が際立っている。今では当たり前になったデザイナーとのコラボレーションアイテムをいち早く手掛けたのも彼の手によるもの。「ジュンヤ ワタナベ コム デギャルソン」「サカイ」「ビズビム」「ホワイトマウンテンアリング」「ミハラヤスヒロ」など、日本人デザイナーをグローバルに引き上げたキュレーションの先見性に、他のブランド経営者との違いは明白だ。更に15年10月に銀座にオープンさせた日本2号店となる旗艦店では、オープン2日間限定で米国の新人アーティストユニット、フレンズ・ウィズ・ユーとのスペシャルコレクションを販売。店の内装も外装もその2日間だけチェンジさせるという手法は、90%の商品がシーズンで、毎シーズン顧客に高級ダウンを買換えさせる消費喚起マーケティングの最たるものだ。

モンクレールジーニアス 第一弾は藤原ヒロシ

そのレモ会長兼CEOがハイ

ファッションマーケットにまた一石を投じた。18年2月にミラノで発表された新プロジェクト「モンクレールジーニアス」は、毎月新たなコレクションがリリースされる前代未聞のマンスリー企画。ミラノのプレゼンテーションでは巨大なテント会場内に、今回起用された8名のクリエイターによる八つの空間が設営され、それぞれまったく違うコンセプトのもと、18-19秋冬コレクションが発表された。

その第1弾は6月に全世界で販売がスタート。トップバッターは藤原ヒロシの「7モンクレール フラグメント ヒロシ・フジワラ」で、日本では抽選制で6月14日よりモンクレール主要店舗で販売され、発売に先駆けて6月13日にフィレンツェで開催されたピッティ・ウオモ94のオフィシャルイベントとして、ミュージシャン藤原ヒロシのライブイベントが行われた。

以降も7月は、コム デギャルソンで「ノワール ケイ ノミヤ」を手掛ける二宮啓の「6」、8月はロンドンデザイナーのクレイグ・

グリーンの「5」、9月はシモーネ・ロジャの「4」と、モンクレール1952の「2」、10月は「モンクレール」のアートディレクターも務める「バーム・エンジェルス」のフランチェスコ・ラガッツィの「8」と、「ヴァレンティノ」のピエールパオロ・ピッチョーリの「1」、11月にはモンクレール グルノーブルの「3」と、八つのコレクションを展開。それぞれモンクレールのブティック、10月に東京とニューヨークなど主要都市にオープンするポップアップ、オンラインで販売されるという。

「多様性こそがモンクレールのアイデンティティを形づくるもの」。今回のプロジェクトの目的を「デジタル世代に対応した情報発信性」と説明するレモ会長兼CEO。スキーウェアをラグジュアリーブランドに押し上げた、時代に合わせたマインドは、危機が叫ばれるイタリア経済や浮沈の激しいモード業界を、最高級ダウンのように軽く、自由に飛翔しながら、ドローンのごとく俯瞰している。



リッツウェルの新作サイドボード

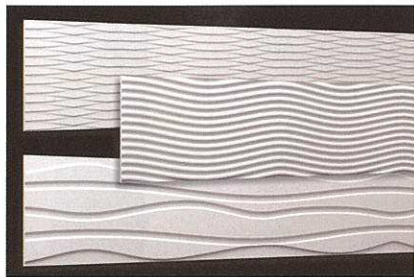
2018年のミラノ・サローネでも話題になったリッツウェルのサイドボード「JABARA SIDEBOARD (ジャバラ サイドボード)」。

古典的な引き戸である「蛇腹戸」をモチーフにした、モダンななかにもどこか懐かしさを感じさせるデザイン。扉は無垢材を一本一本細く切り分け、表面に丸みを持たせることで奥深い表情を際立たせている。引き出しの前面に施された植物タンニンなめしの厚革は、ボードの高級感を引き立てている。素材はウォールナットとオークの2種類、3モデルがラインアップ。写真のA-TYPEサイズ：w2000×d430×h810mm、価格：720,000円〜。

リッツウェル

URL◎http://www.ritzwell.com 電話◎(03) 5772-3460

〔資料請求番号901〕



不燃ウェーブモール

不燃材料のセラミック系人工木材に立体的な波形(ウェーブ)模様を施した「不燃ウェーブモール」。16種類のパネルデザインをそろえ、貼り方によって壁面を個性的に演出する。変質、腐朽、虫害がなく、木材と同様の工具で手軽に加工ができ、アスベストやVOCを全く含まないので、安全・安心を必須とする公共施設や商業施設をはじめ、さまざまな場所に使用可能。サイズ:w300×ℓ3000×t21/30mm。

みはし

URL◎http://www.mihasi.co.jp/ 電話◎(048)464-0384

〔資料請求番号903〕



シンプルでスリムな意匠の屋内専用フロント

「内部用スリムフロント」は、複合商業施設内のテナント店舗や、オフィスなどのスクリーン、喫煙ルームなどの間仕切りに最適な屋内専用フロント。方立・無目の見付を15mmにしたシンプルで意匠性の高いデザインが特徴。開口部には「丁番ドア」「半自動引戸」「自動ドア」「フロアヒンジドア」「スライディングドア」が組み込み可能。従来製品(NL200、NL300、NL400)と互換性があるため、屋内のさまざまな場所、用途で使用できる。

昭和フロント

URL◎http://www.sfn.co.jp/ 電話◎(03)3293-6735

〔資料請求番号905〕



木口メラミン貼りブース

アイカ工業は、独自の木口形状で指挟み防止仕様に対応した木口メラミン貼りブース「メラフロントブース」を発売した。丸みのある優しい木口形状で安全性と意匠性を兼ね備えたトイレブースとして、商業施設、医療・福祉施設、交通施設などのさまざまな施設向けに開発された。扉表面と木口が同柄のメラミン化粧板で耐久性も高くソリッドな仕上がりで、エッジ部から金物を無くしたシンプルでミニマルなデザイン。標準仕様も用意。ドアパネルサイズ:w600×h2100mm相当以下(ドア重量20kg以下)。

アイカ工業

URL◎http://www.aica.co.jp 電話◎0120-525-100

〔資料請求番号902〕



アエルのオリジナルデザインパネル

「AER PANEL (アエルパネル)」は、デザインやカラー、サイズ、仕上げを自由にカスタマイズできる、完全受注製作のオリジナルデザインパネル。アートパネル、サイン、天井・壁面装飾、間仕切り、欄間、建具・家具・照明器具の装飾など、さまざまな用途で使用できる。素材はMDFなどの木材のほか、ダイライトやエースライトなど不燃材料も用意。仕上げは素地とラッカー、AEPなどの塗装仕上げに対応。最大サイズは幅1550mmまで、高さ2550mmまで、厚み4〜24mmまで対応。

アエル

URL◎http://www.aer-space.com/ 電話◎(06)7182-4924

〔資料請求番号904〕



「Sumiko Honda」の新作

川島織物セルコンでは、最高級ファブリックコレクション「Sumiko Honda」の新作「風 光る」を発売した。同ブランドは、「日本の四季を愛でる」を基本コンセプトに、四季の移ろいや自然の情景を表現した新作を発表し続け、今年20周年を迎える。特にホテルや介護施設などでの採用が増えている。新作は、春の花ミモザと雲をモチーフとし、満ち溢れる生命力と光輝く希望を、織設計の技術を駆使して表現。新アイテムは、ドレープ3柄、14アイテムがそろそろ。

川島織物セルコン

URL◎http://www.kawashimaseikon.co.jp/ 電話◎(03)5144-3980

〔資料請求番号906〕

一升瓶専用の日本酒向けサーバー

グローバルの「ファンヴィーノSakeサーバー 1800」は、抜栓した日本酒の酸化を防ぎながら、サービス温度に適した温度で保管し、定量をボタン押しで注ぐことのできる一升瓶専用の日本酒向けサーバー。おすすめ銘柄の提供や試飲サービスに最適。注ぎ量は1cc単位で自由に設定可能なため、人の手によるばらつきをなくし、ロスの低減と正確なコスト管理を可能にする。温度は5〜18℃で設定可能。サイズ:w337×d500×h669mm、重量25kg。

グローバル

URL◎http://www.globalwine.co.jp/shop/

電話◎0120-60-9686

〔資料請求番号907〕



カラフルな天板と脚が特徴のテーブル

「TANZO+Lino Table」は、昔ながらの鍛造製法でつくられたクランプ式の脚部とリノリウムの天板が特徴的なテーブル。広島で粉体塗装を中心に手掛けるシリウスと、広島の地元企業が集結し、素材と技術にこだわり開発した。カラーは天板が3色、脚部は豊富なカラーバリエーションから選択可。ローテーブルとダイニングテーブルの2種類を用意。サイズ・価格:ローテーブル φ600×h500mm・123,000円、ダイニングテーブル w1200/1500/1800×d800×h700mm・170,000/200,000/230,000円。

シリウス

URL◎http://cyuon.com/

電話◎(084)961-4300

〔資料請求番号908〕



パネル吊り用ワイヤー止め金具新シリーズ

ワイヤー止め金具「アラカワグリップ」を展開する荒川技研工業は、パネル吊り用のワイヤー止め金具の新製品を3シリーズ同時発売する。写真の「BSUシリーズ」は、パネルに穴を開けずに取り付けられることが特徴。パネルを下側から挟み込んで支える仕組みで上部に取り付けるワイヤーガイドと組み合わせで使用する。ほかにパネルを横からネジ止めするタイプや大判サイズのパネルに適したシリーズもあり、これらの新製品や使用例を多数掲載した総合カタログを発売し、2018年7月より配布を開始する。

荒川技研工業

URL◎http://www.arakawagrip.co.jp

電話◎(03)5774-8190

〔資料請求番号909〕



8cmキューブアイスメーカー

ホシザキがバーでの使用を見据えて開発した製氷機。一辺約8cmの角氷をつくることのできる。1サイクルに4時間をかけてつくられるソリッドな氷は、内部のクラックが少なくオンザロック用の丸氷やカクテル用のクラッシュ氷に最適。サブした後も溶けにくいので、長時間ドリンク本来の味を楽しむことができる。製氷能力:約4個/4時間、自然落下時貯氷量:約19kg、本体サイズ:w1000×d600×h850mm、受注生産品。価格は要問い合わせ。

ホシザキ

URL◎http://www.hoshizaki.co.jp/

電話◎(0562)97-2111

〔資料請求番号910〕



グレイウッド ビーチスタイルNo.1

OLD SERIES

アルベロプロのオールドシリーズ。それは「木」の持つ更なる可能性を信じ、探し求めたアンティークウッド(古材)。そして空間という大地を支えるフローリング。その融合。

古材がまだ注目されていない時から私たちは古材の価値を見出し、その使い方、表現の仕方を考えてきました。オールドシリーズはその真髄です。

アルベロプロならではのモダンな現代建築との融合を考えた、「アンティーク&モダン」の世界をお楽しみ下さい。



グレイウッド ビーチスタイルNo.2

ALBERO PRO

株式会社アルベロプロ

〒183-0023 東京都府中市宮町1-40 KDX府中ビル12F
tel: 042-340-7685 fax: 042-369-2220

www.alberopro.com

フローリング/北米古材/不燃材/ファニチャー

※北米古材は不燃加工品もございます

〔資料請求番号423〕